

おぢや



市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 52

21. 4. 25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505



山本山山頂休憩所

この建物は旧山本山山頂レストランといい、平成19年株式会社プリンスホテルから市が譲りうけ、2階部分を改修したもの。

□施設の概要

1階

物 置 約61㎡

トイレ 男子大2小6、女子4室

更衣室 男女別各室とも約7㎡

2階

休憩室 約58㎡、土足可

トイレ 男女兼用洋式1基

湯沸し室 シンク、ガスコンロ1（プロパンガス）

□利用の手順

クラインガルテンの管理棟に、申込書を提出して利用を申し込みます。詳しい利用方法のお問い合わせはクラインガルテン「ふれあいの里」(TEL 83-1722)に。

●第1回定例会決議報告 …… P 2

●常任委員会報告 …… P 2～4

●一般質問 …… P 4～7

●議会日誌、雪あかり、編集後記
…………… P 8

— 主な掲載内容 —

第一回定例会 議決結果

条例の制定・改正・廃止

- 小千谷市課設置条例の一部を改正する条例 (起立多数)
- 小千谷市個人情報保護条例の一部を改正する条例 (全会一致)

- 小千谷市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び小千谷市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 (全会一致)

- 小千谷市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例 (全会一致)
- 小千谷市職員退職手当積立金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 (全会一致)

- 小千谷市財政事情の作成及び公表に関する条例の全部を改正する条例 (全会一致)
- 小千谷市民の家条例の一部を改正する条例 (全会一致)
- 小千谷市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市後期高齢者医療に関

- する条例の一部を改正する条例 (起立多数)
- 小千谷市介護保険条例の一部を改正する条例 (起立多数)
- 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例 (全会一致)

- 小千谷市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 (全会一致)

- 小千谷市道路占用料等徴収条例等の一部を改正する条例 (全会一致)
- 小千谷市宅地造成事業特別会計設置条例を廃止する条例 (全会一致)

- おちやクラインガルテンふれあいの里条例の一部を改正する条例 (全会一致)
- 小千谷市公営企業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例 (全会一致)

新年度予算

- 平成二十一年度小千谷市一般会計予算 (起立多数)
- 平成二十一年度小千谷市国民健康保険特別会計予算 (起立多数)
- 平成二十一年度小千谷市老人保健特別会計予算 (起立多数)
- 平成二十一年度小千谷市下水

- 道特別会計予算 (全会一致)
- 平成二十一年度小千谷市農業集落排水事業特別会計予算 (全会一致)

- 平成二十一年度小千谷市介護保険特別会計予算 (起立多数)
- 平成二十一年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算 (起立多数)

- 平成二十一年度小千谷市工業団地事業特別会計予算 (起立多数)

- 平成二十一年度小千谷市ガス事業会計予算 (全会一致)
- 平成二十一年度小千谷市水道事業会計予算 (全会一致)
- 平成二十一年度小千谷市工業用水道事業会計予算 (起立多数)

予算の補正

- 平成二十一年度小千谷市一般会計補正予算(第七号) (全会一致)
- 平成二十一年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第四号) (起立多数)
- 平成二十一年度小千谷市下水道特別会計補正予算(第三号) (全会一致)
- 平成二十一年度小千谷市農業集落排水事業特別会計補正予算(第三号) (全会一致)

その他

- 平成二十一年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第三号) (全会一致)
- 平成二十一年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第二号) (起立多数)
- 専決処分(平成二十一年度小千谷市一般会計補正予算(第五号)) (全会一致)
- 専決処分(平成二十一年度小千谷市一般会計補正予算(第六号)) (全会一致)
- 小千谷市財政調整積立金の処分 (全会一致)
- 小千谷市の公の施設(片貝総合センター)の指定管理者の指定 (起立多数)
- 小千谷市の公の施設(養護老人ホーム)の指定管理者の指定 (起立多数)
- 小千谷市の公の施設(堆肥センター)の指定管理者の指定 (起立多数)
- 小千谷市道路線の廃止 (全会一致)
- 小千谷市道路線の認定 (全会一致)
- 金融危機に端を発する大量解雇・雇い止めから雇用と暮らしをまもる緊急対策の強化を国に求める意見書提出を求める請願

発議

- 小千谷市議会委員会条例の一部を改正する条例 (全会一致)
- 金融危機に端を発する大量解雇・雇い止めから雇用と暮らしを守る緊急対策の強化を国に求める意見書 (全会一致)

三常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました案件は、議案十件でありました。委員審査は、二月二十五日、二十六日、二十七日及び三月二日の四日間に行われ、二十一年度一般会計予算及び二十一年度一般会計補正予算(第七号)については、社会土木委員会、産業経済委員会との三常任委員会の連合審査会といたしました。議案十件の内訳は、条例の一部改正六件、全部改正一件、指定

管理者の指定一件、新年度予算、現年度予算の補正であります。

委員会では各議案とも慎重に審査し、十件とも原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第一号 平成二十一年度小千谷市一般会計予算について

本案は、歳入面では、市税収入において、景気後退による市民税の大幅な減収が見込まれるものの、地方交付税において増額が見込まれております。歳出においては、小千谷小学校改築工事費の計上、中小企業支援及び緊急雇用創出関連予算のほか、重点施策を主に、必要性緊急性の高い事業に対し、重点的、効率的な配分を行う、とするものです。審査は四日間にわたり、活発な質疑が交わされました。

平成二十一年度小千谷市一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ百七十億五千万円で、前年度比〇・一%の減であります。

○議案第三十号 平成二十一年度小千谷市一般会計補正予算（第七号）について

本案は、主として国の第二次補正予算に盛り込まれた定額給付金給付事業等の実施に伴う予算の計上のほか、国の地域活性化・生活対策臨時交付金対象事業を前倒しして実施するため、

予算補正をするものです。連合審査では熱心な質疑が交わされました。今回の補正は、歳入歳出それぞれ八億七千四百六十一万七千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二百十六億五千八百九千円とするものです。

○議案第三十七号 小千谷市の公の施設（片貝総合センター）の指定管理者の指定について

本案は、期間の満了に伴い管理者を指定したいとするものです。意見としては、指定管理期間経過の際は、他の団体も参画できるように公募されたい。更新の際は第三者委員会等による評価の実施を検討されたい。とするものがあり、討論においては、指定管理者制度による住民の利便性向上の資料がなく反対するものがありました。採決の結果、起立多数により原案のとおり可決すべきと決しました。

社会土木委員会

本委員会に付託されました議案二十一件を慎重に審査をし、原案のとおり可決すべきものと決しました。可決されました議案の内、条例の制定、一部改正等十件について報告いたします。

○議案第十四号 小千谷市介護

従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について

介護従事者の処遇改善を図るために行われる介護報酬改定に伴う介護保険料の急激な上昇の抑制を目的に、国から交付される介護従事者処遇改善臨時特例交付金を財源として基金を設置するというものであります。

○議案第二十二号 小千谷市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について

新潟県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の改正に伴い、平成二十一年度における普通徴収の暫定賦課を行わないよう、条例を改正するというものであります。

○議案第二十三号 小千谷市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

平成二十一年四月からスタートする小千谷市第四期介護保険事業計画に基づき、第一号被保険者の介護保険料基準額を改正するといふものであります。

○議案第二十四号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

児童福祉法の改正に伴い、国民健康保険の被保険者とし不在者の範囲に小規模住宅型児童養

育事業を行う者に委託されている児童を追加するといふものであります。

○議案第二十五号 小千谷市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成二十一年三月三十一日から上片貝地区農業集落排水処理施設の供用を開始したことから改正するといふものであります。

○議案第二十七号 小千谷市道路占用料等徴収条例等の一部を改正する条例の制定について

近年の全国的な地価水準の下落を踏まえて、国・県において道路占用料等が改正されるとともに非常災害時に設ける応急仮設住宅が占用物件に加えられたことなどから、国・県に準じた見直しを図るため、関係する三

条例を併せて改正するといふものであります。

○議案第二十九号 小千谷市宅地造成事業特別会計設置条例を廃止する条例の制定について。

中越大地震により移転を希望する世帯のため造成した宅地の売却が全て完了したので、本会計を廃止するといふものであります。

○議案第三十八号 小千谷市の

公の施設（養護老人ホーム）の指定管理者の指定について

社会福祉法人小千谷北魚沼福祉会を指定するといふものであります。

○議案第四十号 小千谷市道路線の廃止について

国道百十七号に編入される二

路線を廃止するといふものであります。

○議案第四十一号 小千谷市道路線の認定について

千谷地内七路線、三仏生地内二路線の九路線を認定するといふものであります。

産業経済委員会

本委員会に付託されました案件は、議案七件及び請願一件でありました。各議案とも慎重に審査し、原案のとおり可決、認定すべきものと決し、請願については、採択すべきものと決しました。

○議案第二十六号 おぢやクラインガルテンふれあいの里条例の一部を改正する条例の制定については、山本山山頂休憩所が平成二十年十二月に完成したことに伴い、その施設を本条例に加えるために改正したいとするものであります。

市政の内容を聞く 一般質問

風間 健一 議員

三洋・パナソニック
関連、追加経済対策等

宮崎 悦男 議員

○議案第二十八号 小千谷市公営企業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定については、真人北部地区の水不足を解消するため上水道による未普及地域解消事業の実施と、併せて既存の簡易水道事業のうち塩谷及び蘭木簡易水道を上水道事業へ統合するため、現在認可を受けている水道事業計画を見直しすることに伴い、関係する条例を改正したいとするものであります。

○議案第十号 平成二十一年度小千谷市水道事業会計予算については、事業収益を前年度に比較して四・三%の減額、収益的収入及び支出の収支差引額は六千三百八十三万二千円を見込んでおり、資本的支出では、真人北部水道建設事業等を予定しております。

○議案第八号 平成二十一年度小千谷市工業団地事業特別会計予算については、前年度に比較して二十二・九%の増となっており、歳入歳出予算の総額をそれぞれ三億七千八百万二千円とするものであります。

○議案第三十九号 小千谷市の公の施設（堆肥センター）の指定管理者の指定については、堆肥センターの指定管理者手続に関する条例第四条の規定により市議会の議決を求めるものであります。

審査の過程では、急激な経済事情での事業執行や購入予定事業所との契約内容、動行について質疑がありました。

○請願第一号 金融危機に端を発する大量解雇・雇止めから雇用とくらしをまもる緊急対策の強化を国に求める意見書提出を求める請願については、大量の失業者たちの雇用とくらしをまもるため、国に対し緊急対策の強化を求める意見書を提出してもらいたいというものであります。

○議案第九号 平成二十一年度小千谷市ガス事業会計予算については、事業収益を前年度に比較して十・四%の増額、収益的収入及び支出の収支差引額は一億七千七百八万六千円を見込んでおり、資本的支出では、第二供給所構内整備工事等を予定しております。

生活保護の活用、その他について

「住宅耐震化助成制度」について

「介護保険」について

今不況で建設業関係の業種も仕事がありません。経営者は失業保険ももらえず深刻な状況です。小千谷市でも、地域経済の活性化、仕事づくりのため「住宅耐震化助成制度」を実施すべきだと思いませんか？

質問

「生活保護の活用について」

今後景気悪化で失業者が増えると考えられます。そこで生活保護の活用について次の三点について質問します。一、働くつもりがあるが、働く場所がない場合でも保護の対象とすること。二、住まいがなくても現在地での申請を前提に敷金などが給付されることを知らせ、申請があれば十四日以内に保護の可否を決定する、臨時的住まいとしてビジネスホテル等も紹介する。三、申請者の手持ちの金が限られているなど窮迫している場合、迅速な保護の決定をする。小千谷市はこの三点を尊重して生活保護の活用するのはいかがでしょうか。

【答弁】 これらの点を尊重して生活保護を適切に実施します。

質問

「介護保険」について

社会保障切捨ての「構造改革」のもとで介護保険料や利用料の負担増が進んでいます。新潟や長岡など県内他市町村の多くが条例を定めて介護保険料の減免を実施しています。小千谷市も市独自の保険料・利用料の減免をして頂きたい。また雇用対策の一環として「ホームヘルパー資格取得支援」をして頂きたい。

質問

「生活保護の活用について」

資格取得支援は国の制度や施策により計画されており、市独自で行う予定はありません。

【質問】 三洋・パナソニックに関連した再就職支援について①現状の把握と、経済・財政的影響は。②商工会議所や企業・ハローワーク等と連携をより密にして、雇用マッチングなどの再就職支援を行ったかどうか。③県と連携した支援策を打ち出しては。

質問

「生活保護の活用について」

【答弁】 ①二十二年以降の税収とガス水道料金収入への影響が懸念される。②商工会議所と協力し受入意向調査を実施、また、緊急雇用対策協議会を開催し関係機関と情報交換を行いながら支援策を進めたい。③当面は現事業を有効に活用した雇用対策に取り組みたい。

質問

「生活保護の活用について」

【答弁】 ①「ホットパートナーめぐりあい事業」は結婚を希望する独身男女に、出会いの機会を創出していく事業。地域活性化、

人口増を期待。「集落型アグリビジネス支援事業」は農業者や地域団体などの商品化活動を支援。農村地域の継続的な活性化に繋がることを期待。②市内企業に意向調査を実施。県に追加要望をしていきたい。③起業者に側面から支援したい。④新たに創出される雇用は三年で五十一人の予定。

質問 リアルタイムの市内景況把握と追加経済対策の検討を。

答弁 より精度の高い調査内容になるよう、商工会議所に要望。市内企業の経済情報を汲み上げ、現場の声を活かすため、経済懇談会を開催する予定。関係機関と連携を図りたい。

定額給付金について 放課後子どもプラン について

中山 俊雄 議員

(定額給付金)

質問 定額給付金の支給が始まった。本市の支給開始に向けての準備状況は。

答弁 総務課と企画財政課の担当職員と臨時職員十名程度を雇用し、支給事務にかかる準備を進めている。支給の時期は、最初の口座振込みによる支給を四

月二十三日頃と予定している。

質問 定額給付金の支給に合わせ、地域で確実に消費してもらおうと商工関係団体が「プレミアム付き商品券」を発行した。市としても支援する考えはないか。

答弁 市は、この取組みに対する補助金等の支援は考えていない。行政としては、制度融資資金など広く、かつ公平に支援することが効果的であり、望ましいと考えている。

(放課後子どもプラン)

質問 放課後子どもプランを国が進めている背景は。

答弁 「放課後子ども教室」事業を開始し「学童保育」と連携して、子どもたちの放課後等の安全・安心な活動拠点の確保と健全育成を図るため、国が提唱したものである。

質問 「放課後子ども教室」と「学童保育」は、それぞれ目的役割が違うと考える。一体的あるいは連携をどのように進めるのか。

答弁 学童保育の対象となる児童との重複も考慮し、それぞれの地域及び保護者のニーズに合った内容を模索しながら、より効果的な「放課後子どもプラン」に向けて推進したい。

質問 「放課後子どもプラン」の主管部局は。

答弁 担当は教育委員会とし、事務局は社会教育課に置く。

ごみ有料化、子育て 支援、第四期介護保 険事業計画について

佐藤 隆一 議員



ごみ有料化について

質問 小千谷市ホームページによると、市は有料化の是非について環境審議会に諮問し、今年三月に答申をうけるとしています。①有料化の効果をいろいろ述べているが目的は何か。②有料化の効果を詳しく説明求める。③有料化は既定の方針か。また、範囲や料金体系について市の考えは。

答弁 ①減量とリサイクル、負

担の公平性、意識の高揚、処理場の延命です。②負担を軽減しようとして排出量が減少し、処理場の延命が図られる。③有料化するに決めている。審議会の検討結果を待ちたい。

子育て支援策について

①さくら保育園閉鎖は市業務の民間委託であり拙速ではないか。②一才児の保育士配置基準六人→三人に一人配置にすべき。③保護者の理解は進んでいるのか。④子どもの通院治療費助成の所得制限を廃止し、小学校卒業まで拡大を。また、ワンパークに乳児医療専門相談窓口を開設すべきでは。

答弁 ①民間委託ではない。事前に十分相談し拙速とは考えない。②国の基準にそったもの。③保護者の理解が進んでいないので、質問、要望、意見に添えていく。

質問 第四期介護保険事業計画①平成二十年の需給予測は。②新年度重点施策は。③介護従事者の処遇改善をどのように進めるか。

答弁 ①平成二十年はほぼ予測通りとなる見込み。②小規模特養ホーム二ヶ所整備する。また、高齢者の介護予防を地域で支える仕組みづくりや高齢者の虐待防止のネットワークづくりを進め

る。③国の調査委員会が実態を検証するなかで各事業所において改善の努力をされると考えている。

城山銘板設置・風船 一揆・認定こども園

本田 剛 議員



質問 時水城山は市民からも人気があり休日には、一五〇人位が登っている。見渡す山々の方位盤、銘板設置をお願いしたい。

答弁 新年度予算に西山遊歩道に標識板を充実するための予算を計上した。方位盤、銘板設置は今後検討する。

質問 こぶし通りのイルミネーションを今後は十二月から彼岸頃まで実施出来ないか。今年の風船一揆イベント会場は少雪の

ため、市街地で行われ、交通面、駐車場等来客の声は場所的に非常に好評で、次回からもこの場所での声が多く聞かれた。商店街の活性化も含め関係者の方達と検討してほしい。

答弁 こぶし通りのイルミネーションは十九年度より市観光協会が復興基金を活用して実施、二十一年度は市民の要望も踏まえ十二月と二月点灯し、有効活用の方向で検討している。風船一揆のイベント会場に関しては実行委員会の中で協議で方針を決めたい。

質問 認定こども園開設の説明会を東地区住民や保護者へは何回も分てやったり、閉園説明の配布等もなかったりし、公平性が無いように思える。市当局は元中子に二施設になるのが問題というが、私立、市立であれば良いのではないか。また、市立保育園の存続を願う署名活動を始めたところ、市職員が署名活動を阻止したと聞く。公平な立場の職員の行為か。

答弁 地元住民の説明会は地区町内会長協議会から順次行った。保護者への説明会も人数が多いため分けて実施した。少子化が進み児童数が減少している。私立が認定こども園として開設す

るに市として民間活力を生かすため、市立さら保育園の閉園を決定した。市職員の署名阻止の事実は把握しておりません。

小学校区再編構想の 取り組み状況と今後

岩淵 清 議員



市は平成十二年から平成十八年までの間、学校整備委員会で小学校区の再編構想を検討し、これまで六校を統合し、今後は南部地区の取り組みが課題となっている。検討する基本的視点は、校舎の老朽化、小規模化に伴う複式校の解消等を優先し、なお、学区の保護者や地域の意向を尊重しながら進めることを基本とした。これまでの取り組み、今後の推進方針は。

質問 市は平成十二年から平成十八年までの間、学校整備委員会で小学校区の再編構想を検討し、これまで六校を統合し、今後は南部地区の取り組みが課題となっている。検討する基本的視点は、校舎の老朽化、小規模化に伴う複式校の解消等を優先し、なお、学区の保護者や地域の意向を尊重しながら進めることを基本とした。これまでの取り組み、今後の推進方針は。

答弁 南部地区の再編については、適正配置の具体的方策に記述されているように、南部地区の既存の学校への統合を考えることが最適であると認識しています。しかし、この具体的方策の中には「将来的に南部地区における統合小学校の建設構想を検討する」旨が併記されており、また「南中学校の近くに統合小学校を建設して欲しい」という趣旨の要望があることも承知しています。これまでこの要望の中心的団体である「南小学校(仮称)推進委員会」の皆さんとは、幅広く意見交換をしてまいりましたが、具体的な進展を見ておりません。今後出来るだけ早い機会に具体策が検討できるよう、地元関係者と話し合いを進めたいと考えています。

質問 児童数の動向を踏まえた教育環境の整備・教育方針は

教育長答弁 平成二十六年には小学校全体で二百八十人程度、中学校でも七十一人程度の減少が見込まれるので、再編構想に沿った統合を急がなければならぬと同時に、教育方針については、学校間の連携を一層高め、少人数による弊害を極力取り除くとともに、特色ある学校づくりを進めたいと考えています。

質問 児童数の動向を踏まえた教育環境の整備・教育方針は

「小千谷・魚沼病院の 統合問題と地域振興 支援員制度」

田中 淳 議員



た。新病院のベッド数を四百床程度と発言したのは、厚生連の堀内理事長であり、仮定的な数字で、ベッド数や予算規模は、今後検討すべきだと思っております。統合時期と開業時期については、市は仲介役でありまして、更に統合協議会は設立されればかりで、まだ検討も開始されておられません。

統合する病院から財政支援を求められれば、当市は有形の支援策をするべきと考えておりますが、近隣市町とのことや具体的支援策は今後の課題であります。

質問 地域振興支援員制度の平成二十一年度からの事業形態と、今後について問う。

答弁 総務省の集落支援員制度は特別交付税制度算入対象となる内容の情報が少ないのに対し、利用実績がある復興基金の支援員制度が地域にとって有利であると判断して、現在準備を進めているところです。

質問 小千谷・魚沼病院の統合について、①合併協議会の時期②ベッド数、③統合・開業時期
当市としての財政支援は如何に。
答弁 新聞紙上にもありましたように三月四日に「財団法人小千谷総合病院・厚生連魚沼病院統合協議会」を設立いたしました。

質問 小千谷・魚沼病院の統合について、①合併協議会の時期②ベッド数、③統合・開業時期
当市としての財政支援は如何に。
答弁 新聞紙上にもありましたように三月四日に「財団法人小千谷総合病院・厚生連魚沼病院統合協議会」を設立いたしました。

後三年間の活動を検証し、その後の体制を検討してまいりたいと考えています。

認定こども園の開設と病院の統合協議で

西沢 代三 議員

質問 認定こども園については、急速な少子化の進行、家庭及び地域の取り巻く環境の変化、小学校就学前の子供の教育に対する需要の多様化等の社会状況の対応策として、国は幼稚園と保育園の一体化を前提とした「認定こども園」の指定、整備を奨励している。

市内では東小千谷「ひばり幼稚園」が、認定条件が整ったので平成二十二年度からスタートするため諸準備が進行中であり、既設の市立さくら保育園が吸収される。教育と保育という二つの異なった性格の混合状況化に対しての矛盾を、どのように認識しているのか、また教諭と保育士の身分についても……。

答弁 学習指導要領の改正並びに保育指針の改正により、幼稚園と保育園の内容が近くなってきましたので、認定制度化に伴う矛盾はないと思います。スタッフも一体的対応ですので矛盾し

ないと思います。



質問 小千谷総合病院と魚沼病院の統合協議会が市長の仲介でスタートするなど、地域医療の新たな整備計画が協議中である。注目されている建設用地等については、既設の両病院跡地での再整備は面積的にも困難視されている。仄聞するところでは、

国道三五一号旭町地内の農水省旧桑樹試験場跡地（約三町歩）の高度利用が期待されている。

答弁 病院の新設用地等についても統合協議会で検討しており、適地を決定することになります。しかし、現時点において市としての用地に関する見解をのべることは財政支援も含めて時期尚早のように思います。

今こそ未曾有の地域政策を望む

安達 稔 議員

質問 景気は昨年から急速に

下降し、世界同時不況に突入した。わが市の行政が取り組む使命と責任としては「市民の生活を守り、雇用を拡大する」に尽きる。補正予算や新年度予算はこの難局を乗り切るための設計図。以下尋ねます。①今回の景気後退が地域経済にどのように押し寄せているのか、認識を伺う。②国の七十五兆円規模の政策の中に緊急雇用創出事業があるが当市はどのように取り組むか。また、地域活性化・生活対策臨時交付金などはどのように取り組むのか。③急速な冷え込みは自殺者増の懸念も指摘されている。どのようなセーフティネットをつくるのか。④新たな展望を開くカギとして「環境」と「農業」と言われている。日本版「グリーン・ニューディール」正式名称は「緑の経済と社会の変革」について当市の取り組みはどのようなか。

急雇用創出事業」で五十一人の予定。「中小企業緊急経済対策資金」は保証協会の保証料とする。また、小千谷小学校改築、学校耐震改修にあてる。交付金の目的に沿った地域の活性化に努めた。③「心の相談」の実施など、関係部署が連携をとり、不安が解消できるよう取り組む。④先進的ではあるが投資額が多額となることから当市単独での施策展開は不可能。研究してまいります。

農業振興策について

久保田 久栄 議員

質問 品目横断的経営安定対策がスタートし、どう変化したかがスタートし、どう変化したか。

答弁 認定農業者の増加、水田農業の体質強化と食料安定供給、地域農業の維持発展を期待できる。

質問 耕作放棄地実態と取り組みは。

答弁 本年より実態調査を開始。国の再生緊急対策交付金事業等を活用し、解消方法を検討。二十二年以降も事業継続を要望したい。

質問 農都共生推進事業で農産加工品の開発、販路開拓は。

答弁 農産物加工練習所を利用、

地域ブランド商品開発と講習会等開催や小千谷ファンクラブと連携、ふるさと雇用再生事業と連動し、各種支援を行いたい。

質問 東小千谷活性化も含め、市を開設してはどうか。

答弁 市は活性化に大きな貢献があると認識。フリーマーケットとパラルソ市の協力を得て、農業者等も参加されるよう、情報提供に努めたい。

質問 水田等有効活用による食料供給向上対策等の対応は。

答弁 産地確立交付金はこの趣旨に沿って対応。水田等有効活用促進交付金はJAと協議中、同交付金対応は難しい状況。

質問 米粉パンを含め、米飯給食の推進を。

答弁 普及は幅広い面で有効な手段と認識、同感、今後関係機関等と連携した取り組みが必要と考える。

質問 食育教育、給食費値上げ問題、今後の運営は。

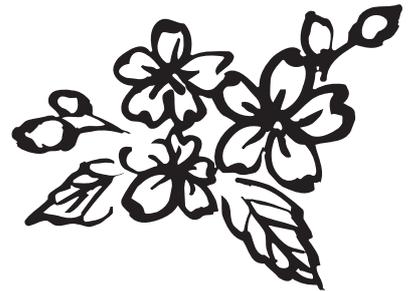
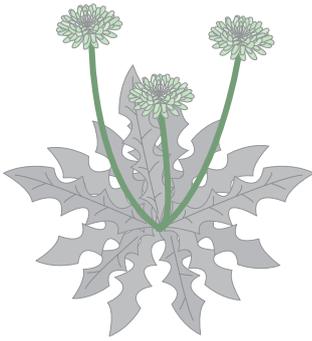
教育長答弁 今年度、市の食育推進計画策定。郷土料理、地元野菜を活用し、学校田や菜園食材を給食へ。食の安全、食育の推進、値上げ問題等、課題山積、児童生徒の健康維持、増進と食を通じた教育の充実に取り組んで行く。

〈1月〉

- 8日 議会報編集委員会
- 15日 議会報編集委員会
- 20日 議員協議会
- 議員全員協議会
- 30日 神奈川県川崎市議会行政視察に来市

〈2月〉

- 4日 全国高速自動車道市議会協議会総会（東京都）
- 5日 社会土木委員協議会
- 6日 2014年問題とこれからの新潟を考えるフォーラム（長岡市）
- 10日 市議会議員共済会代議員会（東京）
- 12日 議員協議会
- 17日 議会運営委員会
- 24日 広域行政圏市議会協議会総会（東京都）
- 24日 第一回定例会（本会議）



〈3月〉

- 議会報編集委員会
- 三常任委員会連合審査会
- 三常任委員会連合審査会
- 三常任委員会連合審査会
- 議員協議会
- 議会報編集委員会
- 三常任委員会連合審査会
- 三常任委員会連合審査会
- 三常任委員会連合審査会
- 議員協議会
- 総務文教委員会
- 社会土木委員会
- 産業経済委員会
- 産業経済委員協議会
- 議会運営委員会
- 本会議（第二日）
- 議会報編集委員会
- 本会議（第三日）
- 議会運営委員会
- 本会議（第四日）
- 北信越市議会議長会監事会（富山県）



35



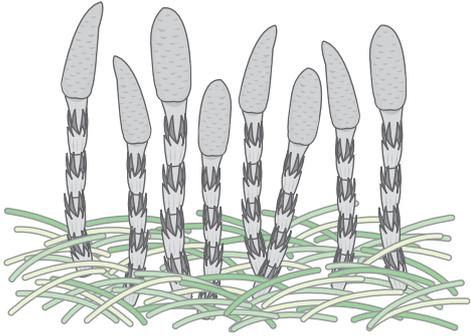
南波 謙一
（片貝町 一之町五区）

勤め先を退職して早くも十三年が経過いたし、第二の人生も足早に時を刻んでいる感がする。顧みると、退職当初に、母から受け継いだ家庭菜園で、新鮮な野菜づくりに励み、自然と親しむ喜びを味わうことができ、現在も私の生活ベースとなっている。退職後四年目にして、町内老人会の世話役を仰せつかり、高齢者の交流を通して、皆の笑顔に接し嬉しく受けとめている。これが契機となり、各種のボランティア活動に参画することで、少しでも地域社会に貢献できることに喜びを感じ、私の生きがいとなっている。

また、老後を楽しむために、趣味が大切なものとなっている。在職中から親しんだ囲碁・謡曲・ゴルフをベースとして、書道に挑戦し、平成十二年に師範免状を頂き、受賞の際に主催者

より「富士登山で言えば、ようやく五合目に到達した段階で、頂上を目指して精進してください」と言葉を賜わり引き続き添削指導を受けている。その後次の挑戦目標として、小千谷市報で募集された水墨画教室に通い、今一番熱くなって制作に取り組んでいるところである。

いずれにしても、健康第一、良き仲間と家族の協力で支えられながら、後期高齢者の年代に入った今日、出来ることを自然体の中で対応し、しかも前向きに、我が人生に悔いなしと実感できるように努めて参りたいと思っている。



編集後記

六日過ぎからの暖かい春の日を浴びて桜はあつという間に満開となりました。今年は例年に無い暖かく、小雪の冬でした。しかし、やはり春を待ち遠しく感じたのは私だけではなかったと思われまます。

百年に一度と言われている経済不況はまだ続いておりますが、テレビ等の報道によりますます、自動車の在庫調整が済み、生産に向かい始めたとか、薄型テレビの生産が上向きになってきている等明るい兆しも極わずかですが見えてきているとのことですので。市民の皆様は、一日も早い景気回復を願っておられると思います。

私たちが市議会議員は任期の半ばになりました。この市議会報の発行を持って編集委員を交替します。二年間ありがとうございました。

編集委員長 吉崎 進
編集副委員長 宮崎 悦男
編集委員 安達 稔
編集委員 本田 剛
編集委員 本田 剛
編集委員 風間 健一
編集委員 山賀 一雄
編集委員 田中 淳
編集委員 川上 直栄
（委員順は当選回数及び議席番号順）